

令和6年 11 月 19 日 山口地区区長会

司会

山口地区の市民と市長との対話集会を始めます。よろしくお願いいたします。

区長会長

山口地区の現状、課題、将来の展望について意見交換をして理解を深めたい。限られた時間ですが、よろしくお願いいたします。

市長

対話集会を開いていただき感謝する。市民の意見を聞き、市政に反映させたい。さまざまな団体と多様な意見を積極的に聞いていく。今日は 11 人の参加者がいるので、一人一言はお話を伺いたい。

司会

山口地区の「我が山口はもっと楽しく美しく」というビジョンに基づいて取り組んでいるが、高齢化と若者の減少が厳しい現状にある。本日は各方面から話をしたい。

参加者

山口は長野県から中津川市に合併し、現在は高齢化が進んでいる。昔は家族経営の農村だったが、機械化が進み人口が流出している。65 歳以上が 40%を占める。地域の伝統として収穫祝いで五平餅を食べる習慣があり、ごへ一本舗を立ち上げて販売している。集落支援員としての取り組みでは、空き家のマップを作成し、ほぼ空き家を解消できた。地域としてのつながりや、新しく来た人に山口を知ってもらう取り組みも行っている。坂下病院の医師不足についても不安がある。住民が行政に期待し注視していると考えている。

参加者

山口小学校とこども園の現状を報告する。小学校は児童数約 40 人で、地域に密着している。地域との交流会や運動会を開催し、初めて防災デイキャンプも実施した。地域全体で子どもたちを育成することの重要性を感じているが、小学校の統合の話が出ており、正確な情報提供を求める。

参加者

椿街道や名所旧跡を活かした地域の魅力づくりについて話す。観光発信を模索しているが、ノウハウが不足している。乙姫周辺の公園化や賤母発電所など地域の資源を活用したい。近年、歩行者の増加に伴い危険な状態になっている場所があるため、遊歩道の整備を考えている。リニアの見える丘公園の整備も提案する。

市長

空き家がないことについて驚いている。どのように解決したのか伺いたい。地域間の協力がポイントであり、

山口の成功を他地区でも生かせるようにしたい。

参加者

空き家は名古屋など外部からの住民による転入で解消された。高齢者が引退後に静かに過ごすために来るケースが多い。

市長

住民が増えたのは良い兆候である。他の地域には空き家が増えているので、地域での働きかけや協力が重要と感じている。

参加者

公共交通が不足しており、高齢者にとっては移動が大変である。ライドシェアなどの今後の対策についても質問する。

市長

現在、他の地区では自治体ライドシェアが行われているところがある。運転手確保が課題だが、地域で支え合う運動が必要である。

参加者

買い物や病院への移動手段の確保が課題である。バスやドライバーの支援が求められる。

参加者

老人クラブの活動も交通手段が欠かせない。行事への参加を促進するための対策が必要である。

市長

タクシーの運行状況についても確認し、地域の交通手段の拡充について検討している。

参加者

一般のドライバーを活用するシステムの構築について提案する。

市長

現在、規制があるため難しい面もあるが、未来には地域のニーズに応じた運営が期待できる。各種の問題を抱える中で、住民が主体的に地域を良くしたいという想いが重要である。移住者の力を借りることも有効で、地域活性化に繋げるべきである。対話集会は今後も継続し、地域のさまざまな団体と意見交換を行いたい。